

2019年度 第3回いすみ市地域公共交通会議 会議録

日 時 令和2年1月29日(水) 午後1時30分～

場 所 いすみ市役所大原庁舎 3階 大会議室

出席委員(12名)

いすみ市副市長	上島 浩一
千葉県いすみ警察署交通課長	高松 直之
千葉県タクシー協会外房支部長(白子タクシー有限公司)	大矢 昌明
学識経験者	出口 幸弘
学識経験者	君塚 正芳
市民代表	牧野 悟
市民代表	三上 一雄
市民代表	露崎 恵司郎
一般乗合旅客自動車運送事業者(小湊鐵道株式會社)	平野 孝之
一般旅客自動車運送事業者労働組合(小湊鐵道労働組合)	古市 茂雄
一般乗合旅客自動車運送事業者(千葉中央バス株式会社)	高橋 英樹
一般乗合旅客自動車運送事業者(浪花タクシー株式会社)	松本 眞

代理出席（2名）

千葉県総合企画部交通計画課	代理	井筒谷 昭平
千葉県県土整備部夷隅土木事務所	代理	並木 卓

欠席委員（5名）

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官（輸送担当）	飯塚 孝廣
一般社団法人千葉県バス協会専務理事	成田 斉
東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長	鶴岡 健次
いすみ鉄道株式会社 経営企画部長	斉藤 修
学識経験者	吉田 優

事務局（3名）

企画政策課課長	海老根 良啓
企画政策課課長補佐	丸 眞弓美
企画政策課企画班	金綱 秀明

議題

- （1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- （2）市内バス利用実績について
- （3）デマンド利用実績について
- （4）市内循環バス・デマンド交通の臨時運行実績について

【開会】

事務局（丸課長補佐）

ただいまより、いすみ市地域公共交通会議を開会いたします。本日、5名の委員が欠席でございます。また、千葉県総合企画部 交通計画課 川俣委員の代理に井筒屋様、千葉県県土整備部 夷隅土木事務所 大野委員の代理で、並木調整課長にご出席いただいております。本日の出席委員は、14名でございます。

いすみ市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項に規定しております、過半数に達しておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。それではこれより議題に移りますが、以降の議事進行につきましては、同設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となるとありますので、出口会長に議長をお願いしたいと存じます。

【議題（1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について】

会長（出口会長）

それでは、暫くの間、議事進行を務めさせていただきます。

「議題（1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局（金綱）

事業評価についてご説明します。資料2をご覧ください。地域公共交通確保維持改善事業の実施にあたり、実施要領には毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、自己評価を行い、当該自己評価の結果を1月末日までに関東運輸局に報告するとともに、公表することとされています。

この資料2の内容は、協議会自らによる評価である、地域公共交通確保維持改善事業・事業評価の（案）となります。地域公共交通確保維持改善事業の対象路線、つまりは、市内循環線の3系統の評価内容となっています。内容について説明いたしますと、

まず始めに、「①補助対象事業者」ですが、本協議会のメンバーである小湊鐵道株式会社となっています。続いて表の右に行きまして、「②事業概要」はそれぞれの運行経路を示した3系統となります。市内循環線は「市内を一周するルート」に加え、時間帯によっては「房信夷隅町支店前止まり」や「市役所夷隅庁舎前止まり」といったダイヤも存在するため、3系統という標記になっています。

「③前回の事業評価結果の反映状況」としましては、国が行った平成30年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における、委員からの助言の中で、公共交通の周知の重要性を指摘されたのを受け、改めて市広報紙への広報記事掲載や時刻表の全戸配布を実施し、住民に対して改めて公共交通の存在を周知しました。その成果としましては、全戸配布を実施した月の新規無料パスポート取得者数が通常の4倍程度となっており、住民に対する公共交通の周知が進んだと考えられます。

「④事業実施の適切性」については、生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価するとなっています。3系統とも計画に位置づけられた事業は適切に実施されていると判断し、A評価としました。

「⑤目標・効果達成状況」については、生活交通ネットワーク計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかどうかを、設定した目標ごとにA,B,Cの3段階で評価し、目標・効果が達成できなかった（達成できない見込み）場合には、理由等を分析の上明らかにするとなっています。今回の状況としては、計画の対象期間である平成30年10月から令和元年9月までの利用者目標が20,000人だった

ところ、実績は22,943人でありましたので目標達成できたものとしております。なお、そのうち10,567人の利用者が無料パスポート利用者であったことから交通弱者にとって市内循環バスが重要かつ効果的なものだったと考えております。

「⑥事業の今後の改善点」についてですが、無料パスポートなどを通じて交通弱者の公共交通利用が促進されている一方で、それ以外の利用者数が伸びず、全体の収支は悪化している状態にあります。今後は高齢者の利用促進を引き続き行っていくと同時に、観光客等も含む一般層の需要を掘り起こすような調査・啓発・施策の立案が肝要と考えられるので、違った観点からの検討をしていきたいと考えています。

5ページ目の別添1-2は、事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について記載してあります。6ページ以降はさきほどの事業評価を分かりやすく補足するポンチ資料となっています。8ページ目は運行経路図、9ページ目は補助対象期間における市内循環線の運行実績です。利用者数22,943人、運行便数は3,185便でした。よって1便あたり利用者数は7.2人です。運行経費は22,413,234円、運賃収入は3,681,850円により収支率は16.4%でした。

以上で、市内バス利用実績についての説明を終わります。

会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

特にないようなので、次の議題に移らせていただきます。

【議題（2）市内バス利用実績について】

会長（出口会長）

それでは、「議題（2）市内バス利用実績について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局（金綱）

それでは、「市内バス利用実績」についてご説明させていただきます。

10 ページ目の資料 3 をご覧ください。令和元年 12 月までの利用者実績となっています。参考として 13 ページ目に前年度の資料を添付しておりますので合わせてご覧ください。

左から市内循環線、いすみシャトルバスの順で記載してございます。まず市内循環線における、令和元年度 12 月までの乗車実績についてですが、合計 18,524 人 月平均 2,058 人でした。昨年度の同時期と比較いたしますと、利用者合計が約 2,200 人増加しており、昨年度の報告に引き続き、大幅な増加となっています。令和元年 11 月 1 日に実施したダイヤ改正において、内回りが 1 便減便されたため利用者の落ち込みが懸念されましたが、12 月実績までを見るかぎりでは杞憂だったようです。

続いて、いすみシャトルバスについてですが、12 月までの利用者合計が 19,513 人、月平均 2,168 人と前年同時期より約 2,000 人増加しており、前前年度と同程度まで持ち直しました。

続いて、16 ページをご覧ください。こちらが各路線の、収支についての資料となっております。市内循環線の料金収入は、2,551,650 円、月平均 283,517 円となっています。前年度と同時期と比較しますと、約 10%の減収となりました。いすみシャトルバスにつきましては、料金収入は、7,303,500 円、月平均 811,500 円となっております、微増しております。

簡単ではありますが以上で、市内バス利用実績についての説明を終わります。

会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

特にないようなので、次の議題に移らせていただきます。

【議題（3）デマンド交通利用実績について】

会長（出口会長）

それでは、「議題3 デマンド交通利用実績について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局（金綱）

それでは、「議題3 デマンド交通利用実績」についてご説明させていただきます。現在デマンド交通事業として、夷隅地域で2台、大原地域で3台、大原地域で2台での運行を実施しておりますが、その報告となります。

資料4をご覧ください。令和元年12月までの利用実績を夷隅・岬・大原と地域ごとに表した資料となっております。まず始めに夷隅地域の利用実績についてですが、3,029人、1日当たり16.1人となっております。前年同時期と比較すると186人減で、1日当たりの利用者が1名減っているという状態です。

次に岬地域です。利用実績として4,095人、1日当たり21.8人となっており、前年と比較しますと227人の減少、1日当たりの利用者が1.4名減っているという状態です。最後に大原地域です。利用実績は7,024人、1日当たり37.4人となっており前年同時期と比較しますと、ほぼ横ばいでした。

3地域全体で料金収入は、5,659,200円となっており、前年同時期5,807,600円でしたので若干の減収です。以上で、デマンド交通利用実績についての説明を終わります。

会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

特にないようなので、次の議題に移らせていただきます。

【議題（４）市内循環バス・デマンド交通の臨時運行実績について】

会長（出口会長）

それでは、「議題４ 市内循環バス・デマンド交通の臨時運行実績について」を議題といたします。

事務局より説明願います。

事務局（金綱）

それでは、「市内循環バス・デマンド交通の臨時運行実績」について、ご報告させていただきます。資料５をご覧ください。こちらが今年度の年末年始の連休中に実施した、市内循環バスとデマンド交通の利用実績となっております。市内循環線については１日当たりの利用者数が２６人、４～１２月の１日当たりの利用者平均数が約１００人ですので、通常時の４分の１程度の利用といった結果になりました。

一方デマンド交通については、１日当たりの利用者が２６．８人、４～１２月の１日当たりの利用者平均数が７５．３人ですので、通常時の３分の１程度の利用といった結果になっています。年始については夷隅地域の利用者がいなかった一方、大原地域のようにコンスタントに利用者がいるといった、地域性が垣間見える実績となっております。

続いて、２７ページをご覧ください。こちらがゴールデンウィークの臨時運行分も含めた、利用者実績の表となっております。全体として通常時の４割程度の利用があり、需要自体はある事が確認できまし

た。臨時運行は継続実施する方向性いくとともに、臨時運行の適切な日数について、今後の検討課題としていきたいと思ひます。

会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

無いようでしたら、以上で議事を終了させていただきます。以降の進行につきましては、事務局にお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

【その他】

事務局（丸補佐）

出口会長ありがとうございました。

また、委員の皆様には慎重なご審議をいただきありがとうございました。

その他ということで議題以外に委員の皆様から何かございますでしょうか。

【閉会】

事務局（丸補佐）

以上をもちまして、いすみ市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。